

Key
Person



(株) 鳳工業 代表取締役

友永 一将

「共存共栄」。友永社長の経営方針を一言で表すなら、この言葉が相応しいだろう。職人の世界は、良くも悪くも負けず嫌いな人が多いものだ。社長自身も10代半ばから腕を磨いてきて、技術面では負けん気の強さを持っている。だが経営者としては、他社よりも先んじて成長したい、といった考えはない。同業者たるもの協力し助け合って、共に成長していくべき——そんな柔軟な考えのもと、Win-Winの関係を意識し、周囲と信頼関係を築いているのだ。対等な仲間として足並みを揃え、自社のみならず業界全体の繁栄と幸せを目指す。それが社長のスタンスであり、経営者としての器の大きさだ。

「お互いに協力し合いながら、皆が幸せになれるような関係を築きたい」



元 WBA 世界ミドル級チャンピオン

竹原 慎二

1989年にプロデビューを果たし、90年に全日本新人王、95年12月にWBA世界ミドル級チャンピオンに輝く。96年10月に引退。その後はTBS『ガチンコ・ファイトクラブ』や『最後の博徒』、『日本の首領』などテレビや映画に出演。近年は解説者としても活躍している。

代表取締役

友永 一将

福岡県出身。中学校卒業後、熱絶縁工事の会社に入社した。関東にある支店の所長にも抜擢されるなど数多くの現場を経験し、合計15年以上の修業を積み独立。周囲との関係づくりや信頼を大切に前進中。プライベートでは2人の子どもの父親でもある。



熱絶縁工事のプロ集団として、周囲

プラントなど大型施設での熱絶縁工事を手掛ける『鳳工業』。同社の友永社長は、10代半ばから腕を磨き続けてきた道一筋の職人だ。そんな社長を目指すのが、“共存共栄”である。本日は元WBA世界ミドル級チャンピオンの竹原慎二氏が訪問し、社長の事業に懸ける思いに迫った。

10代半ばで熱絶縁工事の職人に
約16年の経験を積み独立

「『鳳工業』さんでは、熱絶縁工事を手掛けておられると伺いました。友永社長は、いつからこのお仕事をしているのですか。」

中学校を卒業してすぐ、地元・福岡県に

ある熱絶縁工事の会社に入社しました。それ以来ずっと、この業界一筋ですね。20歳ごろまでは地元で働きましたが、その後は千葉県に転勤。そして茨城県に支店を出すことが決まった25歳ごろからは、茨城支店の所長を務めるようになりました。そうして合計で約16年間勤務してから独立し、この『鳳工業』を立ち上げたんです。

「お若いころから長く勤めて責任ある立場にも就かれて、勤務先としても社長を手放したくはなかったでしょうね。」

実は10代の時からずっと将来の独立を考えていて、前勤務先の社長にもその思いは伝えていました。それでも、いざ退職して独立する時には、少々渋られましたね(笑)。最終的には私の気持ちを理解していただき、快く送り出してくださいました。職人として一から育ててもら

い随分可愛がっていただいたので、本当に感謝しています。

「福岡県が地元だとおっしゃっていましたが、ここ茨城県での独立を決めたのはどうしてですか。」

結婚して子どもも生まれ、すでに生活拠点がこちらにあったんです。前勤務先でも最後は茨城県で働いていましたから、仕事上の人脈も築いていました。ですから、独立に際して地元に戻るという選択肢はなかったです。独立したのは2020年で、ちょうどコロナが流行し始めたタイミングでした。さすがに不安もありましたが、「やるしかない」という気持ちでスタートを切り、ありがたいことに途切れることなく仕事をいただけています。

「それは素晴らしいですね！ お仕事は、以前の職場から引き継がれたのでしょうか。」

と協力し合い共に成長していきたい

いえいえ、お客様を奪うようなことはできません。自分で新たに開拓していったほか、知人が紹介してくれるなど人脈に助けられました。周囲の皆さんに恵まれたからこそ、順調なスタートを切り現在があると感じています。

■ 仲間同士の相互協力で
全国各地の現場で活躍

「現在、スタッフさんは何名いらっしゃいますか。」

自社で抱えているのは4名ですが、協力関係にある業者さんが多数あります。その方たちも合わせると、30名以上の職人で動くことが可能です。

「30名とは大所帯ですね！」

当社ではプラントの熱絶縁工事を手掛けているので、現場が大規模ですからそれほどの人数が必要なんです。実は、これでも人手が足りないくらいなんです。

「それだけ多くの仕事が、御社に舞い込んでいるということですね。」

協力会社さんのお陰だと感謝しています。私は元請けとか下請けとか、上下関係を作りたくないと思っています。協力関係にある職人さんたちは皆、同じ業界で働く仲間。助け合いリスペクトし合っていて、一緒に仕事をしていきたいですね。仕事を依頼するのが人なら、受けるのも

人です。どんな仕事も周囲の人々との関係性が大事だと思っていますから、信頼を何よりも重んじています。

「私も現場仕事をしてきた経験がありますから、社長のお考えはすごく納得できますよ。」

私が協力業者さんをお願いする時もあるけど、お願いされることもあります。困っている時はお互い様ですから、助け合える関係が重要です。それが結果的に、同業者全員の成長とメリットにつながると信じています。

「現場は、関東周辺がメインですか。」

全国各地に行きますよ。茨城県だけでなく、地元である福岡県のネットワークも活かして、職人を各地に送り出すこともあります。東北地方や中国地方にも協力会社があるので、色んな地域に対応で

きるんです。今後はさらに当社の社員や協力関係の方々も増やして、100名から150名ほどの人数を動かせる規模にしたいですね。

「それはまたスケールが大きい！ 今後も楽しみです。」

目標に向かって、今は私の右腕となるような人材を育てているところです。業界全体として若い人が少ないのが現状ですので、若手の職人を迎え入れてどんどん育てていきたいですね。また、茨城県の神栖市内に土地を借り、事務所と工場を建てる計画を進めています。この春から着工し、夏頃に完成予定です。企業としての土台を固め、10年後には現場を任せられる腕利きの若手が多数揃っている状況を目指し、前進していきます。

(取材 / 2022年1月)

Company Profile

茨城県知事許可(般-02)第37339号

株式会社 鳳工業

茨城県神栖市知手中央6丁目16-25 平野コーポ 512



OU KOGYO



「経営者としても職人としても、常に学び成長し続けておられる友永社長。普段は2人のお子さんの優しいお父さんでもあります。社名の『鳳』という文字は、お子さんの名前から取られたそうですよ。この事業で家族を守っていくという、一家の大黒柱としての決意も感じられますね。対談からも強く優しい心の持ち主であることが感じられましたし、きっとこの先ますます御社を成長させていかれることでしょう」

竹原 慎二・談